



同志少女よ、  
敵を撃て

逢坂 冬馬 著  
早川書房

1942年独ソ戦、実在の女性兵士達を元に、母の復讐のため狙撃兵になった少女を描く。直木賞候補選出のデビュー作。



硝子の塔の  
殺人

知念 実希人 著  
実業之日本社

実在する様々なミステリーをヒントに、密室殺人の謎が解かれてゆく。予測不可能などんでん返しと驚愕のラストをお楽しみに。



黒牢城

米澤 穂信 著  
KADOKAWA

直木賞、山田風太郎賞、4大ミステリランキングすべてで1位を獲得した歴史小説ミステリー。歴史小説初心者にもお薦め。



残月記

小田 雅久仁 著  
双葉社

近未来で感染症に侵された男の一途な愛を描く「残月記」他、月を背景にした3つの残酷で美しい恋愛短編集。



スモール  
ワールズ

一穂 ミチ 著  
講談社

様々な家族のありふれた日常の光と闇を描いた6篇からなる短編連作集。それぞれの家族に訪れる結末とは？



正欲

朝井 リョウ 著  
新潮社

朝井リョウ作家生活10周年記念の書き下ろし長編小説。普通って何だろう？そんな事を考えさせられる一冊。



赤と青と  
エスキース

青山 美智子 著  
PHP研究所

章ごとに登場する様々な赤と青。切なく、温かく、激しい思いを一枚の絵が繋いでいく。優しい読後感に浸れる一冊。



星を掬う

町田 そのこ 著  
中央公論新社

幼い頃に自分を捨てた母のせいにして、人生を生きてきた千鶴。母との再会は、これまでの日々をやさしく掬っていく。



夜が明ける

西 加奈子 著  
新潮社

「俺」と親友・アキの、思春期から33歳の物語。現代日本の生きづらさに正面から向き合った著者5年ぶりの長編作品。



六人の  
嘘つきな  
大学生

浅倉 秋成 著  
KADOKAWA

「1人の内定者を6人で決める」最終選考に挑む大学生。告発文によって、優秀な6人の隠された顔が明かされる。

図書館であなたの人生の一冊に出会おう

# 読書人

今月のテーマ

『本屋大賞2022』

全国の書店員が“今いちばん売りたい本”を選ぶ『本屋大賞2022』の大賞と、ノミネートされたすべての作品をご紹介します。

市内各図書館で全作品を所蔵しています。この機会にぜひお手にとってみてはいかがでしょうか。



ご希望の図書が貸出中の場合は予約ができます。詳しくは図書館にお尋ねください。  
石橋図書館 ☎(52)1136/国分寺図書館 ☎(44)3399/南河内図書館 ☎(48)2395

